

3. 院内救急対応システム（RRS）運営部会

運営部会メンバー

医師

池田智之(11月まで)、下司徹

看護師

藤川真人、林薫、中村紀子、榎木愛美、山崎多恵、鈴木佳奈、泉野宏貴、谷口勝也、藤田蒼

医療安全推進室

佐伯公亮

臨床工学技師

西村基

リンクナースメンバー

岩田あゆみ、岩崎喜考、安居貴之、木村友哉、角間加奈美、立木佑美、阪江舞、堀尾真希

1. 院内救急対応チーム活動

要請数 7 件（チーム介入により 5 件が ICU に転棟）

2. 急変対応についての院内勉強会の開催（回数は通算回数）

| 回数 | テーマ | 講師 | 開催日時 | 参加者数 |
|--------|---|---------------|-----------------------|-------|
| 第 17 回 | 第 1 部：救急カート内の薬品について 第 2 部：新人にも理解できる心電図 モニター | 上田 潤哉 宮澤 豪 | 6. 4 17:30～18:30 | 127 名 |
| 第 18 回 | 院内急変を未然に防ぐ | 池田 智之 | 9. 5 17:30～18:30 | 77 名 |
| 第 19 回 | ショックの診断と治療について | 下司 徹 | 12. 19 17:30～18:30 | 52 名 |
| 第 20 回 | 重症疾患と高血糖 | 菱澤 方洋 | 3. 6 17:30～18:30 | 38 名 |



3. ドクターコールについての活動

本年度は 27 件の院内ドクターコールが起動された。

ドクターコールについての振り返りを合計 28 回開催

(1 件はドクターコール症例ではないが、ドクターコール適応症例であり、振り返り会を実施)した。

4. リンクナース会活動

各病棟の救急カート内容の整備

病棟での急変患者症例の共有

病棟看護師を対象とし、救急カート内の薬剤についてのテスト実施

緊急入院患者の入院時重症度評価

病棟での急変対応についての学習会

各病棟での患者の急変対応についての問題点を抽出



5. RRS 広報活動

RRS の周知のため RRS についての話題を“RRS NEWS”として発行、また各回勉強会に関してもポスターを作成し、掲示板に掲示、及び各部署に配布した。

6. 全職員対象 BLS 研修

ガイドライン 2015 に準拠した研修を継続。合計 3 回開催。 8 名が受講。

7. 院内医療安全週間での発表 平成 30 年 7 月 23 日

①心停止発生前のせん妄調査

—せん妄発症時は急変しやすい？ドクターコール振り返り会からみえてきた心停止前のせん妄について—

②院内看護師に対する救急カート薬剤知識調査の取り組み

③急変の早期警告スコアである NEWS をどう活用するか？

—ICU 退室時の高 NEWS は ICU 再入室の危険因子となる—

110 名参加

8. 学会発表

<第 21 回 日本臨床救急医学会学術集会（愛知県）平成 30 年 5 月 31 日～6 月 2 日>

・ 一般ポスター

奥野千尋：院内看護師に対する救急カート薬剤知識調査の取り組み

鈴木佳奈：ドクターコール振り返り会を契機とした心停止発生前のせん妄についての調査

<第 48 回 日本集中治療医学会学術集会（京都府）平成 31 年 3 月 1 日～3 日>

・ 一般口演

中村紀子：一般病棟へ緊急入室した患者の NEWS 評価の有用性の検討

<第 14 回 日本クリティカルケア看護学会学術集会（東京都）平成 30 年 6 月 30 日>

中村紀子：シンポジウム「チーム医療の充実と安全管理の成果 チームステップスの構築」

RRT・RST の立場から(シンポジスト)

9. レジストリ登録

多施設共同研究：RRS オンラインレジストリと院内心停止(J-RESORT)レジストリに症例登録中

10. その他

第 21 回日本臨床救急医学会学術集会(愛知県) RRS 合同委員会 参加 中村紀子

第 48 回日本集中治療医学会学術集会(京都府) RRS 合同委員会 参加 中村紀子

大阪府看護協会 認定看護師教育課程 救急看護共通科目 医療安全学:医療安全管理

医療安全の事例検討・実習：ファシリテーター 藤川真人